

## 授業科目

基礎作業学実習Ⅲ

科目コード番号

【担当教員名】 1) 榎本郁子 2) 佐藤陽子	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

## 【概要】

- 1) 基礎作業学実習Ⅰ、Ⅱの学習体験を基に、作業療法の治療手段として用いられる作業を考え、実習を通して作業の知識・工夫・応用・指導法を分析・考察する能力を身につける
- 2) 作業療法の視点からレクリエーション活動の意義を理解し、知識と技法を学習する

## 【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	指定なし			
参考書	作業・その応用 身体障害の作業療法 その他授業中に紹介	日本作業療法士協会監修・編		
その他配布資料				

## 【評価方法】

出席、資料作り、作品、レポートなどを総合評価

## 【履修上の留意点】

提出物の期限厳守

## 【本科目の一般教育目標：G10 (General Instructional Objective)】

- 1) 基礎作業学実習Ⅰ・Ⅱを基に、臨床の場を想定し、治療手段としての作業の選択、作業の知識・技術・工夫・応用・指導法などを習得する
- 2) 作業療法の視点でレクリエーション活動の意義を理解し、知識と技法を習得する

## 【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】

- 1)
  1. 治療的応用のための作業種目を10種列挙できる
  2. 作業に必要な材料・道具などを揃えられる
  3. 作業に必要な資料を準備できる
  4. 作業に必要な道具・材料の使用法を説明できる
  5. 作業の工程を説明・実演できる
  6. 作業の技術を人に指導できる
  7. 作業に必要な道具・材料などをきちんと管理できる
  8. 作業と治療を関連づけられる
  9. 限定的作業分析ができる
- 2)
  1. レクリエーションの意義と役割について述べられる
  2. 個別的、集団的なレクリエーションアプローチの方法を述べられる
  3. レクリエーションの分類・分析の方法を述べられる
  4. レクリエーションの計画が立てられる
  5. レクリエーションの目的から評価まで理解し、説明できる
  6. レクリエーションを指導できる

# 授業計画

教室 \_\_\_\_\_

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	ガイダンス グループ討議（作業種目）	1	榎本	講義 グループ学 習	作業の収集と選 択・資料作り（各 グループ）
2 ～ 4	作業実習 1) 作業の紹介 2) 材料・道具揃え 3) 工程説明 4) 実技指導	2～7		グループ実 習	
5	作品・レポート発表 修得の反省・確認・討議	8・9		グループ発 表	
6 ～ 7	レクリエーション指導	1～6	佐藤・榎本	講義 実技	

その他

2) の授業内容の変更及び1) と2) の授業回数の変更は有り得る